

小児がん患児のきょうだいと母親のサポート知覚の特徴と きょうだいの心理社会的問題との関連

The characteristics of the mother's support for the siblings of pediatric cancer patients and the relationship to their psychosocial problems.

長尾 愛美 (Ayami Nagao) 指導：鈴木 伸一

【問題と目的】

子どもにとって母親の影響は大きく(出野, 2007), 母子間の愛着形成が健康な精神発達に不可欠であり(黒田, 2004), 長期に渡り, 子どもに影響を与えることが示されている。

近年, 発達障がい児や, 長期療養が必要な病児をきょうだいにもつ子どもは両親からの注目が得られにくい環境にある(浅井, 2004)という観点から支援の必要性が指摘されており(大瀧, 2012), 小児がん患児のきょうだいもさまざまな影響を受けることが指摘されている(新家, 2009)。また, 母親はきょうだいと一緒にいられないことやきょうだいへの配慮が不十分であることに, 罪の意識を感じていることも示されている(Sidhu, 2006)。これまで, 患児のきょうだい求めるサポート内容が明らかにされてきたが, きょうだい知覚しやすいサポート内容については明らかにされておらず, きょうだいのサポート知覚がきょうだいの心理社会的問題に与える影響性についての検討は不十分である。

本研究では, 小児がん患児が入院中に母親がきょうだいに対して実施していたサポートの現状を把握し, 患児が入院中に, きょうだい知覚していたサポートと母親が提供していたサポートの一致について検討し, きょうだい知覚しやすいサポートについて明らかにする(研究1)。また, きょうだい知覚した母親からのサポートときょうだいのPTSR, 自尊心との関連について検討を行う(研究2)。

【研究1】

目的 小児がん患児の母親が患児のきょうだいに実施しているサポートの現状の把握。小児がん患児のきょうだいと母親のサポート知覚のズレを検討し, きょうだい知覚するためには母親の努力が必要なサポート, 無意識に母親が提供しているサポートを明らかにする。

方法 都内私立総合病院を受診している小児がん患児のきょうだいおよび母親を対象に, フェイスデータ, 患児が入院中に, 母親が患児のきょうだいに対して実施していたサポート/知覚していたサポートに4件法で回答を求めた。母親がサポートを実施していたかを検討するために二項検定を行った。各項目について母親のサポート得点から患児のきょうだいのサポート得点を引き, 母親>きょうだい, 母親=きょうだい, 母親<きょうだいとなる人数の偏りを1×3のクロス表を作成し, カイ二乗検定を行い, 多重比較を行った。

結果 多くの母親が実施していたサポートは21項目中14項目あった。項目2「きょうだいに, 患児がどのような治療をするのかについて教えた」($\chi^2=5.77, p<.05$), 項目13「きょうだいを遊びに連れて行った」($\chi^2=7.37, p<.05$)において人数の偏りがみられ, 項目2において, 母親<きょうだいと答えた人数よりも母親>きょうだいと答えた人数の方が多く, 項目13において, 母親=きょうだいと答えた人数よりも母親<きょうだいと答えた人数の方が多かった ($p<.05$)。

考察 きょうだいに患児がどのような治療をするのかについて, 母親が思っている以上にきょうだいは情報を知りたいと思っている可能性, 母親が丁寧に情報を伝える必要があるということが示された。また, 患児の世話で忙しい母親と出かけることは, 母親が考えている以上にきょうだいにとって価値のある出来事である可能性が示された。

【研究2】

目的 患児のきょうだい知覚したサポートと自尊心, PTSRの関連の検討を行うことを目的とする。

方法 都内私立総合病院を受診している小児がん患児をきょうだいにもつ8名を対象とし, フェイスデータ, PTSD-RI, ローゼンバーグ自尊感情尺度, 患児が入院中に, きょうだい知覚した母親からのサポートに回答を求めた。患児, 患児のきょうだいの特性により, PTSR, 自尊心に違いがあるかどうかを検討するために, 患児, 患児のきょうだいの特性を独立変数, PTSR, 自尊心を従属変数としたMann-WhitneyのU検定を行った。患児が入院中に, きょうだい知覚した母親からのサポート得点とPTSR得点および自尊心得点の分布を把握するために, 対象者ごとの得点をプロットした。

結果 PTSRに関しては, 患児が白血病であること ($U=0.00, p<.05$), 自尊心に関しては, きょうだいの性別 ($U=0.50, p<.05$) により, 有意差がみられた。母親からのサポート得点とPTSRに関連がみられ, 母親からのサポート知覚が高いほどPTSRが高い傾向がみられた。

考察 入院中は患児のきょうだいのPTSRはより高かったことが考えられ, 母親はそれを知覚し, 患児のきょうだいに多くのサポートを提供していたと考えられる。そのため, 母親からのサポート知覚が高いほどPTSRが高いという傾向が見られたと考えられる。